

第1回庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成29年9月27日（水） 13:00～14:05
2. 開催場所 庄原市役所本庁舎5階 第2委員会室
3. 出席委員 西村 和之 委員・松田 智仁 委員・西田 学 委員
藤谷 善久 委員・胡子 悦子 委員・藤谷 健司 委員
本平 正宏 委員・住田 鉄也 委員
4. 欠席委員 八谷 るりこ 委員
5. 出席職員 庄原市長 木山 耕三
企画振興部
企画振興課長 加藤 武徳
企画振興課企画調整係長 足羽 幸宏
企画課振興企画調整係 原田 淳司
6. 傍聴者 3人
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第1回 庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会 次第

■日時 平成29年9月27日（水）13:00～15:00

■場所 庄原市役所 5階第2委員会室

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 議事

(1) 検討委員会の設置について 資料1

①委員長および副委員長選出

■委員長：

■副委員長：

②委員会の進め方等について 資料2

(2) 庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会の設置趣旨について 資料3

(3) 庄原市街地における公共施設の現状と課題について 資料4

(4) 今後のスケジュールについて 資料5

4. 現地視察について 資料6

会 議 経 過

1. 開会 加藤課長

2. 市長あいさつ

3. 議事

(1) 検討委員会の設置について **資料1**

①委員長および副委員長選出

事務局提案により

■委員長：西村 和之 委員を選出

■副委員長：藤谷 善久 委員を選出

【→拍手で承認】

②委員会の進め方等について **資料2**

【事務局より資料②説明→質疑なく承認】

(2) 庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会の設置趣旨について **資料3**

【事務局より資料③説明】

【委員長より補足説明】

- ・ 市街地の公共施設のあり方がメインで、その中でも市民会館、庄原自治振興センターについて、利用者多く面積も広いが、耐震が一部十分で無いところもあり、今後の改修等の方向性を出す必要がある。
- ・ 人口は減り、財政も厳しい。昨年、総合管理計画で全体の公共施設の方向性は出たが、各施設の廃止等になれば、当然反対も出る。そういう中で合意点はどこか？次世代へどう繋げていくかを踏まえて議論いただくことが趣旨となる。
- ・ 市民アンケートについて、厳しい財政状況、市街地どうあるべき、市民にもう一度広報して、市民の皆さんの意見をもらった上で、議論をまとめていきたい。

【→質疑なく了承】

(3) 庄原市市街地における公共施設の現状と課題について **資料4**

【事務局より資料④を説明】

委 員：市民会館と庄原自治振興センターの耐震補強、「一部未実施」、具体的にどこが実施済みでどこが未実施なのか？

事務局：資料⑥に添付の平面図の中央部、左が市民会館、右が自治振興センター。その繋ぎ目の耐震性が不足している。両施設、単体では問題ない。太い線の部分の耐震

性が無いので、そこを補強すれば大丈夫との診断結果をもらっている。

委員：耐震補強工事はしておらず、診断結果、繋ぎ目部分が耐震性を有していないということか？一部未実施ではなく、両施設の診断結果、一部耐震性が無いということではよいのか？

事務局：その通り。

委員：早々に耐震補強しなければ、すぐに危ない状況なのか？

事務局：耐震補強工事の見積金額は、1000万円程度と聞いている。今すぐ、早急にということはないと考えている。

委員長：この規模の建物でこの金額なら、大規模補強にはならないであろうと推測する。

【以上、質疑終了】

(4) 今後のスケジュールについて 資料5

【事務局より資料⑤を説明】

委員長：おおよそのスケジュールに関しては、この通りでよいのか？【→異論なし】

次回の委員会で、事務局からアンケート原案を具体的に出してほしい。

アンケート実施に関して、回答者への程度情報提供して判断してもらうのか。それをはっきりさせないと、答えが散漫になると考える。

あり方、方向性だけでは、あまりに漠然で、今あるものをどう改修するか、逆に壊してどう建て替えるか、答えの幅が広すぎると考える。市役所としての考えをもう少し具体的に聞きたい。どんな意見でもいいのか？ある程度制約を決めているのか？

事務局：市としては、皆さんの意見を聞くということで、委員会立ち上げた。大規模改修、現地で建替え、移転改築等、答えは抽象的にならないよう、しぼりたいとは考えてはいる。財政状況を考慮しなければ移転改築だとは思いますが、財政推計等の資料を委員会に示し、皆様のご意見を伺いたい。

委員長：平成27年度の公共施設等総合管理計画で、庄原市全体の公共施設の状況は、他の類似自治体と比べ相当多く、維持管理費・改修費用が厳しいという状況は判明し、それを広報している。これをもう一度市民の皆さんにご理解いただく努力をしないと、なぜこのようなアンケートをするのかわからないという事になる。委員の皆様もこの厳しい状況を理解いただいた上で、今後どのようにするか議論いただきたい。

委員：ハードだけではなく、今の施設の機能のままでよいのかどうか考える必要がある。また、住民要望も入れていく必要がある。例えば、コンサートにしても常時、大ホールが必要かなど機能を考えた上で、いきなり建て替えではなく、改修なのか建て替えなのか等、判断すべきである。

委員長：その通りと考える。

- 委員：長期総合計画との関係性はどうか？基本計画に基づいたものなのか？
- 事務局：検討委員会での意見を踏まえ、市としてのいろいろな改善点等、整備方針が出れば、長期総合計画実施計画に反映させていくことになる。なお、移転改築の場合等は、期間が次期の長期総合計画までかかるかもしれないが、いずれにしても、財政計画等とすり合わせ、長期総合計画に基づいて実施していきたいと考えている。
- 委員長：長期総合計画がトップで、それに基づき、この委員会で方向性を示し、具体的なものは市が考えることになると認識している。
- 委員：アンケートは情報の提供のやり方で、答えは誘導される。キャッチフレーズだけなら、夢を語れば建て替え、財政状況、ネガティブ情報出せば、そのようになる。市はどのような思いで、どこまで情報を出してアンケートを実施するのか？
- 事務局：市の方向性、確定していない。アンケート内容も非常に苦慮している。委員の皆様のご意見をいただければと思っている。
- 委員：市が今から考えるのかと正直びっくりしている。自分の周りからは、改修は決定事項だと聞いていた。トイレ改修、大ホールを小さくして小ホールにするなどの意見集約だと思っていた。方向性が確定していないのは、本当にびっくりしている。
- 委員長：長期総合計画作成等で、市の現状、アンケート結果等を広報しているはずだが、なかなか自分に関係ない部分は、市民に浸透していない。建替えにしる、改修にしる、現在の建物状況、財政状況等客観的データを提示してからアンケートすべきである。情報提供が偏ると答えの誘導になってしまうため、適切ではない。
- 委員：状況、情報を示し、希望を聞いた上で、市民からの意見を聞くべき。それを委員会でまとめ市長へ出す。出した結果を市長がどう判断するかは別物と考える。
- 委員長：提言を出すまで1年間期間がある。じっくりやっていきたい。
- 委員：施設情報が全体の利用者等のみで漠然としている。どの部屋をどれくらい利用しているのか等、もっと詳細な情報がほしい。
- 事務局：次回提示します。

4. 現地視察について 資料6

【事務局より資料⑥を説明→質疑なし】

- 委員長：視察終了後、現地解散することを確認。今後長丁場になるが、よりよい提言をするため、ご協力をお願いしたい。

14:05 閉会

会議終了後、公用車2台で現地視察。市民会館、庄原自治振興センターは、それぞれの関係者の案内で館内視察を行い、15:10 終了となった。

以上、議事の経過ならびにその結果を明確にするため、本会議録（摘録）を作成し、会議録署名人が次に署名する。

平成29年9月27日

会議録署名人 西村和之

会議録署名人 藤谷善久